

川口市との合併に向けて

～「川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会」開催の
主な結果と今後の日程～



12月に設立された「川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会」の協議状況や、今後の協議会日程などをお知らせします。

◆任意合併協議会委員とその役割

「任意合併協議会」とは、合併に関係する市町村の意見を十分に交し、検討する場として任意に設ける会です。

今回、「川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会」（以下「協議会」）が設立されたことで、合併に向けた課題や、事務事業などの調査・検討が進んでいきます。

協議会の組織は幹事会、専門部会および事務局から成り、会議に提案する事項の協議・調整を行うほか、協議会の事務を処理します。

また、事務局を川口市リサイクルプラザ内に設置しました。

【協議会委員名簿】 (敬称略)

| 川 口 市 | 鳩 ヶ 谷 市 |
|-------------------------|-------------------------|
| 政策研究大学院 大学教授 横道 清孝 ◎ | 前埼玉県 公営企業管理者 今井 大輔 ○ |
| 市長 岡村 幸四郎 | 市長 木下 達則 |
| 市議会議員 岩澤 勝徳 | 市議会議員 西脇 博 |
| 市議会議員 立石 泰広 | 市議会議員 野崎 一則 |
| 市議会議員 大関 修克 | 市議会議員 関 由紀夫 |
| 市議会議員 金子 信男 | 市議会議員 金子 幸弘 |
| 市議会議員 最上 則彦 | 市議会議員 西村 喜代子 |
| 商工会議所頭 細野 壽雄 * | 商工会会長 小原 貞次 * |
| 新郷地区 連合町会長 新藤 幸男 | 自治連合会会長 大澤 芳雄 |
| 安行地区 連合町会長 山喜 光明 | 合併推進 市民の会代表 細井 一郎 |
| 行政改革 市民会議委員 増井 千恵子 | 文化団体 連合会会長 渡辺 律子 |
| 副市長 加藤 善太郎 | 副市長 谷口 壽 |
| 企画財政部長 西川 亨 | 総合政策部長 島村 克巳 |

◎会長 ○副会長 *監事

問合せ ●合併推進室・内線2312、2321
●川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会事務局
☎048-227-7515、☎048-224-3866
(川口市朝日4-21-33 川口市リサイクルプラザ2階)

◆協議会での協議内容

12月に開催された第1回協議会において、今後の協議会では合併の是非も含め、①合併に関する事項、②合併基本計画に関する事項、③両市の合併に関し必要な事項の3点について協議していくことが決定しました。

◆これまでの任意合併協議会の開催経過

これまでの主な議事の内容は次のとおりです。

| | |
|------------------|---------------------------------------------------|
| 設立会 21年12月24日 | ・任意合併協議会規約について ・任意合併協議会設立に関する協議確認書について |
| 第1回 21年12月24日 | ・合併協議の基本方針について ・任意合併協議会幹事会規程等について |
| 第2回 22年1月18日 | ・合併協議の基本方針を踏まえた今後の協議の流れについて ・合併に伴う事務事業の一元化について |

◆今後の開催日程

今年度の開催日程は次のとおりです。

| | | |
|-----|---------------------|-----------------|
| 第3回 | 2月8日(月) 午前10時から | 川口市役所5階大会議室 |
| 第4回 | 2月23日(火) 午前10時から | 鳩ヶ谷市役所2階市民フォーラム |
| 第5回 | 3月26日(金) 午前10時から | 鳩ヶ谷市役所2階市民フォーラム |

合併協議の状況は、広報はとがや、市ホームページで情報提供をしています。また、併せて任意合併協議会の「任意合併協議会だより」や、協議会ホームページもご覧ください。



ふれあい 民生・児童委員

小さな子ども達とのふれあい

民生委員、児童委員は、子どもから高齢者まで、活動の場がたくさんあります。

先日、地域内の保育所で行われた「ふれあいのつどい」に参加した時のこと…。

園児のおじいちゃん、おばあちゃん、地域の高齢者、民生委員、ボランティアが参加し、年齢・クラス別でお遊戯、おうたがあり、その中には、なつかしい童謡もあり、一緒に口ずさみながらの、楽しいひと時を過ごしました。

自由遊びの時間では、コマ廻しやお手玉、折り紙やあやとりなどの昔遊びをしました。子どもたちの中に交じって、にぎやかな時間でした。子ども達との写真撮影では、皆さんニコニコ笑顔でした。

高齢者の中には、いつも一人で食事をする方が多く、後日、記念写真を届けながら感想を伺ったところ「とても楽しかったよ。子ども達と食事をして花ももらってね。また来年も行くから誘ってね」と言われました。

声をかけて良かったなあと思いました。これからも、皆さんのふれあいを大事にしていきます。

掲示板

仲間になりませんか (会員募集中)

◆辻MBC (ミニバスケットボール)

毎週土・日曜、午前9時～午後3時(学年により変更あり)、辻小学校体育館で。小学生女子のチームで、学区に関係なく楽しく活動しています。ぜひ見学に来てみませんか。入会金2,000円、月会費1,500円。連絡は高橋☎287-2414

◆辻エレファント (ミニバスケットボール)

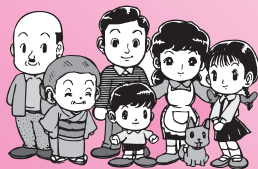
毎週土・日曜、午前9時～午後3時(学年により変更あり)、辻小学校体育館で。小学生男子のチームです。友だち作り、体力作りに！見学大歓迎です。入会金2,000円、月会費1,500円。連絡は樋田(うつぎだ)☎281-7876

◆中央書道クラブ

毎週水曜、午前9時～正午、中央公民館で。書いた後の達成感と嬉しさを味わってみませんか。目ざせ生涯現役！男女不問、見学大歓迎。入会金なし、月会費3,000円。連絡は佐藤☎284-7078

◆鳩ヶ谷ダンスサークル

木曜(月3回)、午後7時～7時45分、午後7時50分～9時、ふれあいプラザさくらで。一人でも始められます。「私に出来るかしら」と尻込みする前にぜひ体験を。見学自由。入会金1,000円、月会費：初心者3,000円、中・上級者4,500円。連絡はハルミ☎090-5751-3663



くらしの眼

～日常生活での
トラブルを防ごう～

「未公開株」のトラブル

「上場間近な優良な未公開株がある。他に欲しいと言っている人がいるので、あなたが買って欲したら、今度はこちらが3倍の値段で買い取る」という電話があり、1株30万円の株を5株購入しました。その後担当者が休職したと言い、上司から「買い取りは1ヶ月待つて欲しい」と言われました。本当に買い取ってもらえるか不安です。



◆未公開株とは？

未公開株とは、証券取引所などの株式市場に上場されていない株式のことです。未公開株の勧誘には以下などのパターンがあります。

- 買取を約束して購入させるもの(代理購入型)
- 公的機関を名乗り「その株なら大丈夫」とお墨付きを与え購入させるもの(公的機関装い型)
- 過去に未公開株の被害にあった人に被害回復を持ちかけ、新たに未公開株を購入させるもの(被害回復型)

企業が株式市場に上場するにはさまざまな基準をクリアしなければならず簡単ではありません。将来どうなるかわからないのに、「○年後に上場する」「上場したら○円になる」などと勧誘するのは問題です。

◆被害に遭われた方はぜひご相談ください。

誘いに乗って購入した後で、あれこれ理由をつけて上場や買い取りなどを引き延ばされた挙句、業者と連絡がつかなくなってしまうこともあります。未公開株の話には十分注意しましょう。

問合せ 消費生活相談窓口(産業振興課内・☎242-6327(直))

毎週火・水・金曜 午前10時～正午、午後1時～4時

● 「円朝の女」松井今朝子著
● 「ひまわり事件」萩原浩著
● 「わが夫坂本龍馬」おりょう著

新着図書

▽2月27日(土) 「タンタンチベットをゆく・紅海のサメ」(86分) 2月28日(日) 「クール・ランニング」(98分)
▽場所 図書館会議室
▽時間 午後1時半から
▽定員 30人

映画会

4月に行う予定のリサイクル・フェアに提供していただけの本(マンガ・雑誌・学習参考書以外)がありましたら、3月30日(火)までに図書館カウンターまでお持ちください。
なお、フェアに出す本は図書館で選定しますのでご了承ください。

寄贈図書の募集



● 「クワイエット・ナイツ」ダイアナ・クラール
● 「ピアノ」河村隆一
● 「he licat」黒木メイサ
● 「そしてもう一度夢見るだろう」松任谷由実
● 「午前中に」吉田拓郎
● 「昭和の名人 古典落語名演集 十代目柳家小三治 二 猿後家/時そば」柳家小三治
● 「ジャズ・イン・ザ・ガーデン」ザ・スタンリー・クラーク
● 「ソー・イン・ラヴ」ロバータ・ガンバリニ

新着CD

「大阪づくし私(わたし)の産声」山崎豊子著
「人形のBWH」丸谷才一著
「ハッピー・リタイアメント」浅田次郎著
「拉致対論」蓮池透他著
「ライシャワーの昭和史」ジョージ・R・パッカー 著
「SOSの猿」伊坂幸太郎著
「偏愛ムラタ美術館」村田喜代子著
「群雲に舞う鷹」秋山香乃著
「星をつくった男」重松清著
「静人日記」天童荒太著
「深夜零時に鐘が鳴る」朝倉かすみ著
「大坂づくし私(わたし)の産声」山崎豊子著
「人形のBWH」丸谷才一著
「ハッピー・リタイアメント」浅田次郎著
「拉致対論」蓮池透他著
「ライシャワーの昭和史」ジョージ・R・パッカー 著